



2026年3月期 決算説明資料

株式会社翻訳センター [証券コード2483]

2026年5月25日

Table of Contents

- 2026年3月期 業績
- 2027年3月期 業績予想
- 中期経営計画
- 株主還元および成長イメージ
- Appendix

Section 1

- 2026年3月期 業績
- 2027年3月期 業績予想
- 中期経営計画
- 株主還元および成長イメージ
- Appendix

売上高

10,871 百万円

前期比△3.0%

営業利益

705 百万円

前期比△20.7%

経常利益

748 百万円

前期比△17.3%

当期純利益

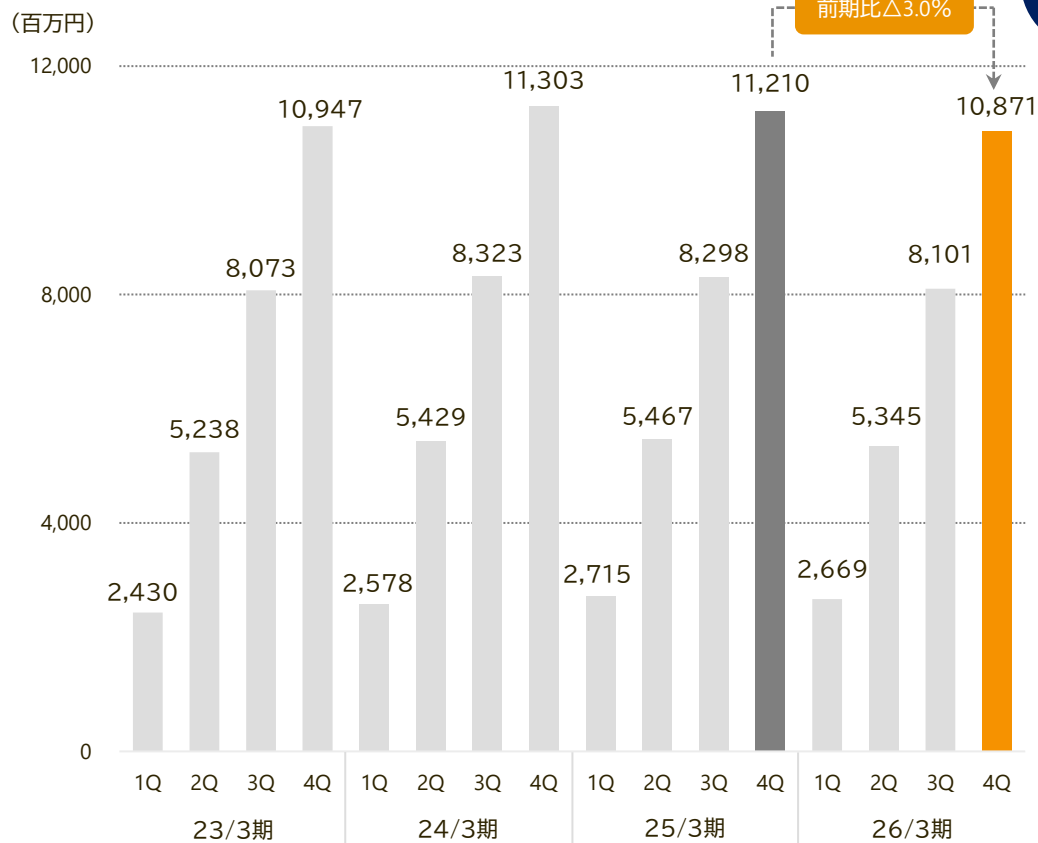
462 百万円

前期比△36.1%

2026年3月期 業績サマリー

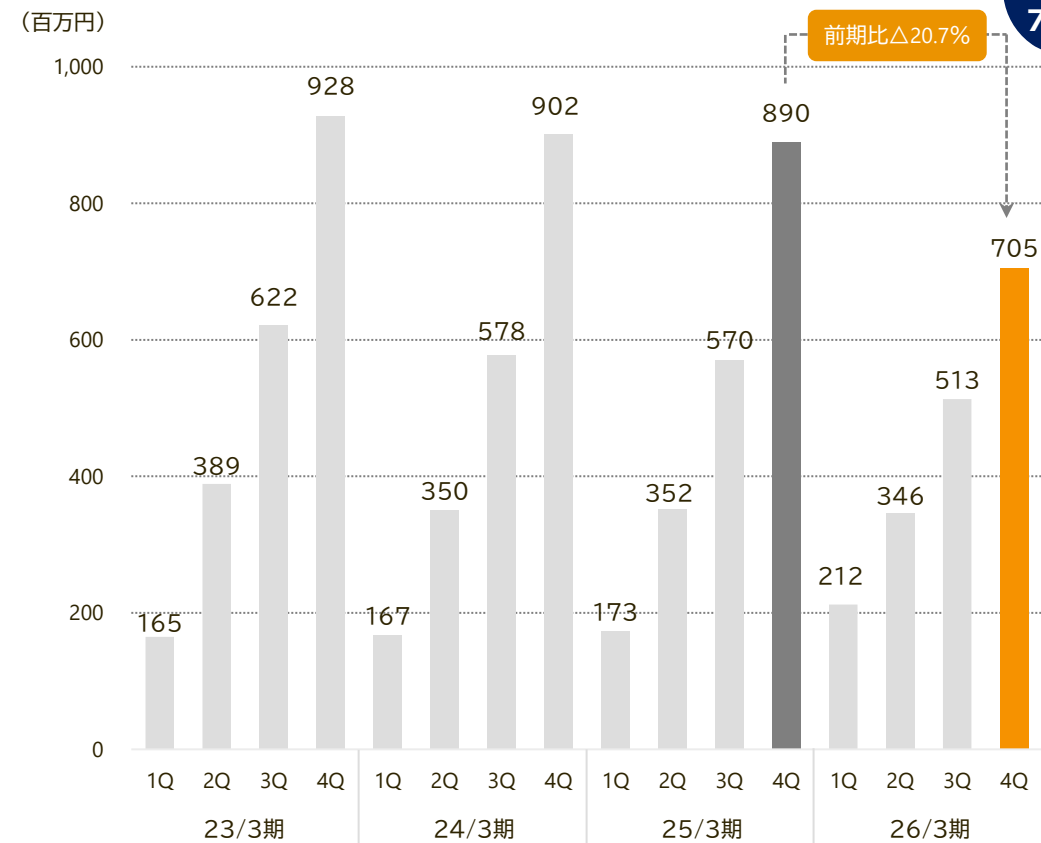
売上高

10,871 百万円



営業利益

705 百万円



2026年3月期 業績

(百万円)

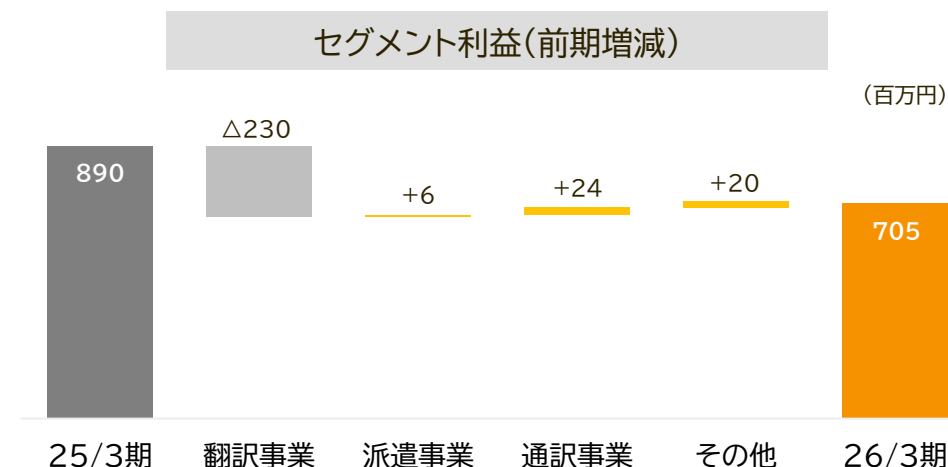
	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	増減	増減率
売上高	11,210	10,871	△338	△3.0%
翻訳事業	8,507	8,096	△410	△4.8%
特許分野	2,911	2,945	33	1.1%
医薬分野	2,694	2,677	△17	△0.6%
工業・ローカライゼーション分野	2,280	1,930	△350	△15.3%
金融・法務分野	619	543	△76	△12.2%
派遣事業	1,175	1,123	△51	△4.4%
通訳事業	1,187	1,323	136	11.4%
その他	340	328	△12	△3.6%
売上原価	5,895	5,718	△177	△3.0%
売上総利益	5,314	5,153	△161	△3.0%
売上総利益率	47.4%	47.4%	0.0pt	—
販売管理費	4,424	4,447	23	0.5%
営業利益	890	705	△184	△20.7%
経常利益	905	748	△157	△17.3%
特別利益	195	0	△195	—
特別損失	14	37	22	156.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	723	462	△261	△36.1%

*その他は、コンベンション事業、語学教育事業、外国特許出願支援事業等で構成

2026年3月期 業績

(百万円)

		2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	増減	増減率
翻訳事業	売上高	8,507	8,096	△410	△4.8%
	セグメント利益	776	545	△230	△29.7%
派遣事業	売上高	1,175	1,123	△51	△4.4%
	セグメント利益	30	36	6	20.3%
通訳事業	売上高	1,187	1,323	136	11.4%
	セグメント利益	89	113	24	26.9%
その他	売上高	340	328	△12	△3.6%
	セグメント利益	△10	10	20	—



*その他は、コンベンション事業、語学教育事業、外国特許出願支援事業等で構成
*営業利益は調整額を含めておりません

Section 2

- 2026年3月期 業績
- 2027年3月期 業績予想
- 中期経営計画
- 株主還元および成長イメージ
- Appendix

2027年3月期 予想

(百万円)

	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	増減	増減率
売上高	10,871	11,300	428	3.9%
翻訳事業	8,096	8,380	283	3.5%
特許分野	2,945	3,120	174	5.9%
医薬分野	2,677	2,755	77	2.8%
工業・ローライゼーション分野	1,930	1,950	19	1.0%
金融・法務分野	543	555	11	2.0%
派遣事業	1,123	1,138	14	1.2%
通訳事業	1,323	1,377	53	4.0%
その他	328	405	76	3.5%
売上原価	5,718	5,900	181	3.1%
売上総利益	5,153	5,400	246	4.7%
売上総利益率	47.4%	47.7%	0.3pt	—
販売管理費	4,447	4,650	202	4.5%
営業利益	705	750	44	6.2%
経常利益	748	780	31	4.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	462	500	37	8.1%

Section 3

- 2026年3月期 業績
- 2027年3月期 業績予想
- **中期経営計画**
- 株主還元および成長イメージ
- Appendix

連結業績目標の修正

初年度実績および今期見通しを踏まえ、中期経営計画最終年度の業績目標を修正。なおROE目標は短期的な利益率低下により従来水準を一時的に下回る見込みだが、中期的には従前方針通り、資本コストを上回る水準の確保に努める

中期経営計画 最終年度(2028年3月期)

	当初計画	修正後目標	増減	増減率
売上高	13,000	11,700	△1,300	△10.0%
営業利益	1,200	900	△300	△25.0%
当期純利益	800	600	△200	△25.0%
ROE	10%以上	8%以上	—	

AI・データの活用による事業競争力の強化

データドリブな営業・マーケティング活動が奏功し、重点文書のシェア拡大と高付加価値化(単価上昇)を実現

データによるニーズ補足

AIによるQCD最適化

価格競争からの脱却

重点領域における定量成果(FY2025実績)

対象文書	売上高(前期比)	案件単価(前期比)	主な要因
IR資料	+14.2%	+9.6%	英文同時開示ニーズへの対応
教育研修資料	+18.5%	+13.8%	研修資料の映像化への対応
治験実施計画書	+29.6%	+10.2%	国際共同治験増加への対応

業務効率化の推進

工程管理プロセスの標準化と組織設計を再定義。システム実装に向けた開発・検証フェーズへ移行

業務標準化

- ✓ 工程管理プロセスを標準化
- ✓ 案件進捗の可視化および管理手法の共通化



組織設計(再定義)

- ✓ 営業・プロジェクトマネージャの役割
- ✓ 業務範囲と権限

工程管理システムの構築・実装

工程設計の精度向上・生産性向上

利益率の維持・向上

安定した収益基盤の確立

資本効率を重視した事業ポートフォリオの最適化に向け、事業再編および成長投資の両輪で収益基盤の強化を推進

事業再編

FIPASを吸収合併

- ・当社特許本部内にFIPASグループを設置し、営業体制を一体化
- ・翻訳～外国出願のワンストップ提供体制を構築
- サービス提案力強化により、企業知財部からの引き合いが拡大

成長投資

シトラスジャパンをグループ会社化

- ・多言語ウェブ制作会社のM&Aによりサービス領域を拡張
- ・多言語ウェブ制作の知見を活かし、翻訳サービスを拡充
- クロスセルの推進により、複数顧客の案件を獲得

経営効率の改善

収益機会の拡大

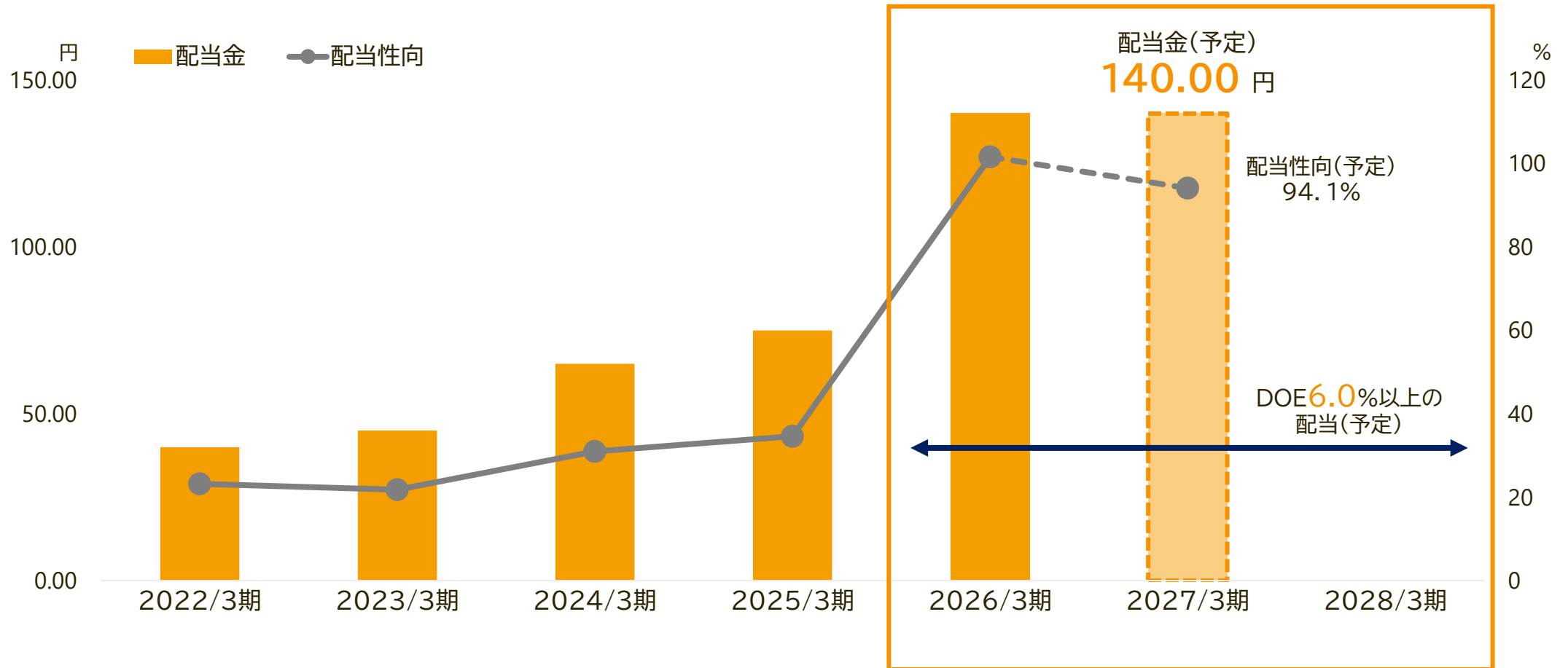
ポートフォリオ最適化・資本効率の向上

Section 4

- 2026年3月期 業績
- 2027年3月期 業績予想
- 中期経営計画
- **株主還元および成長イメージ**
- Appendix

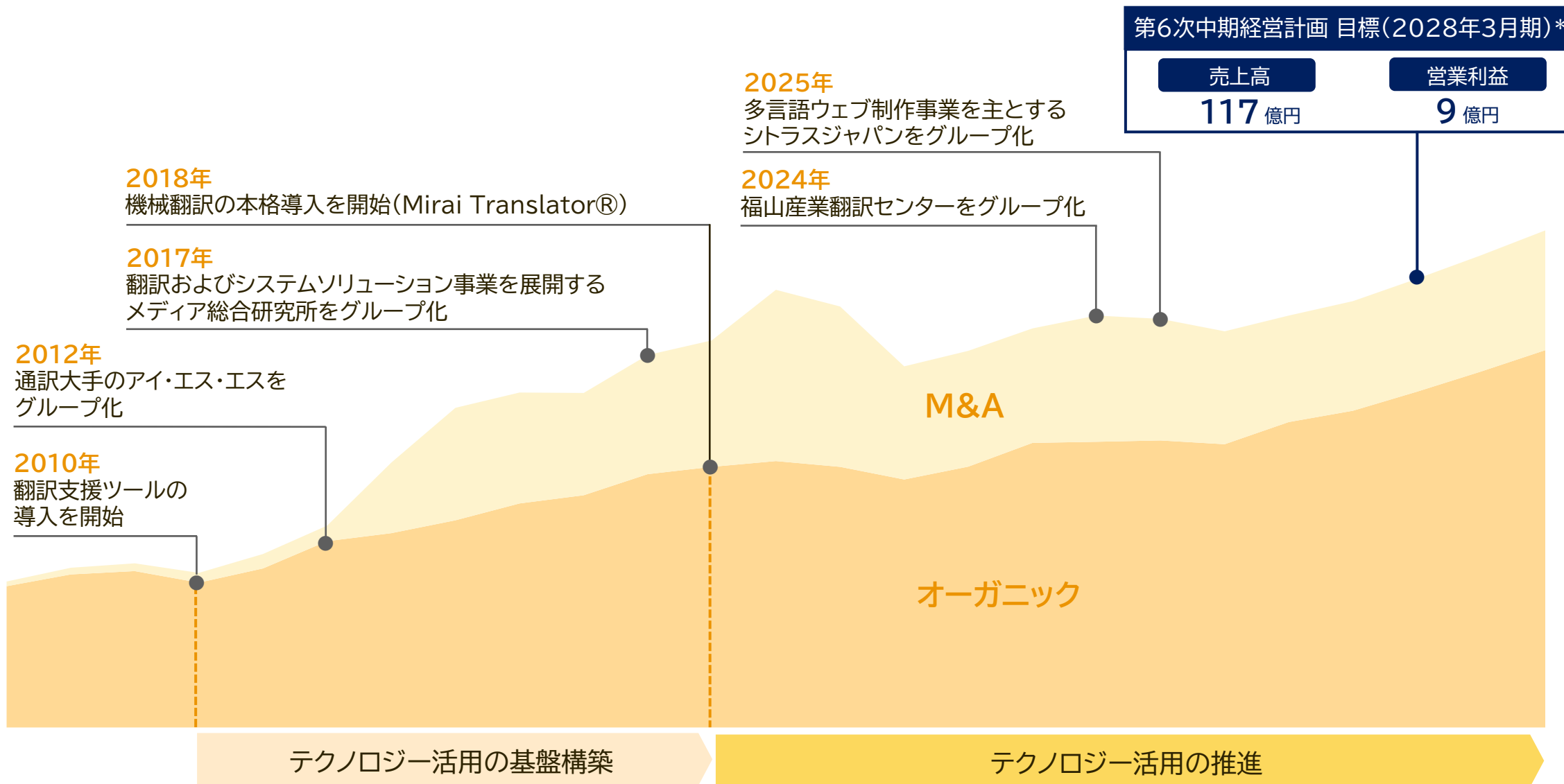
株主還元

利益還元の一層の充実と資本効率向上を目的に、中期経営計画期間を対象として、株主資本配当率(DOE)6%以上および総還元性向100%以上を株主還元方針に適用*



*「剰余金の配当(増配)及び2027年3月期配当予想並びに株主還元方針の変更に関するお知らせ」(2026年5月12日発表)

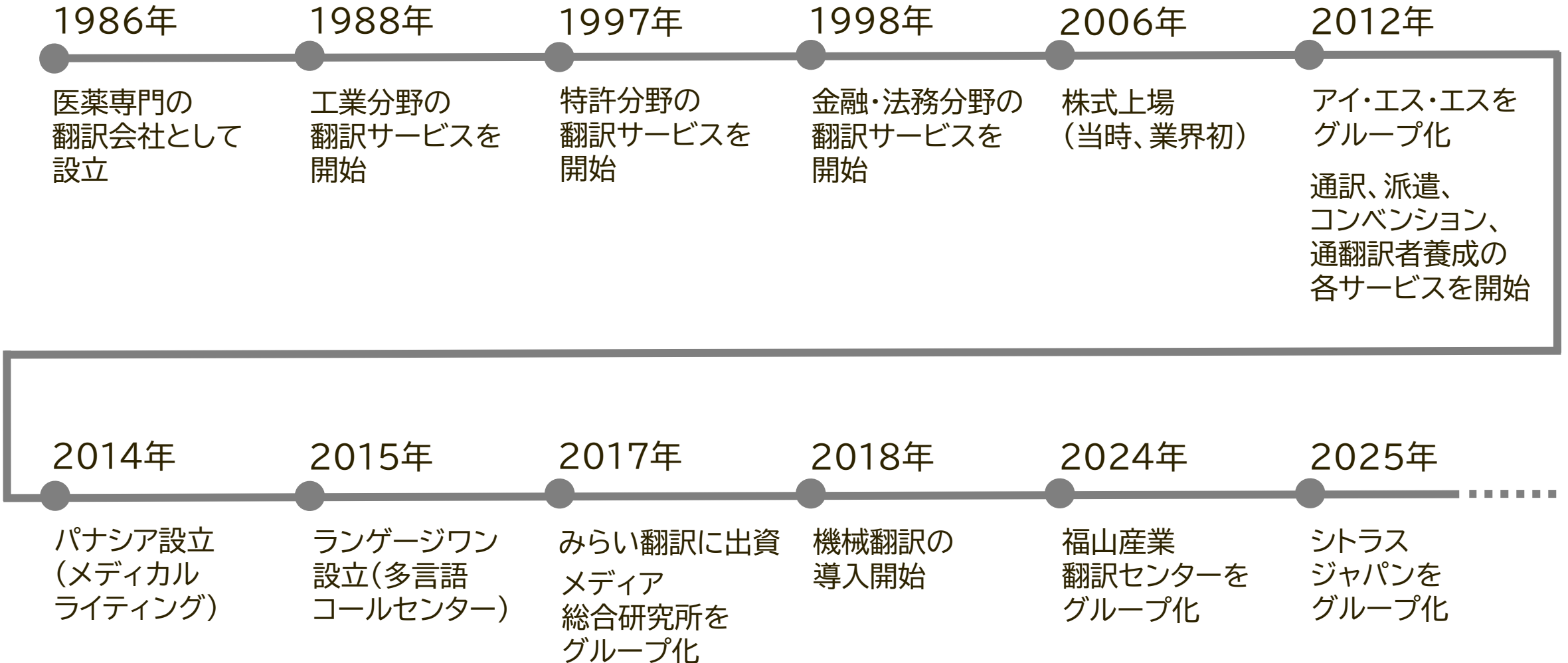
成長イメージ



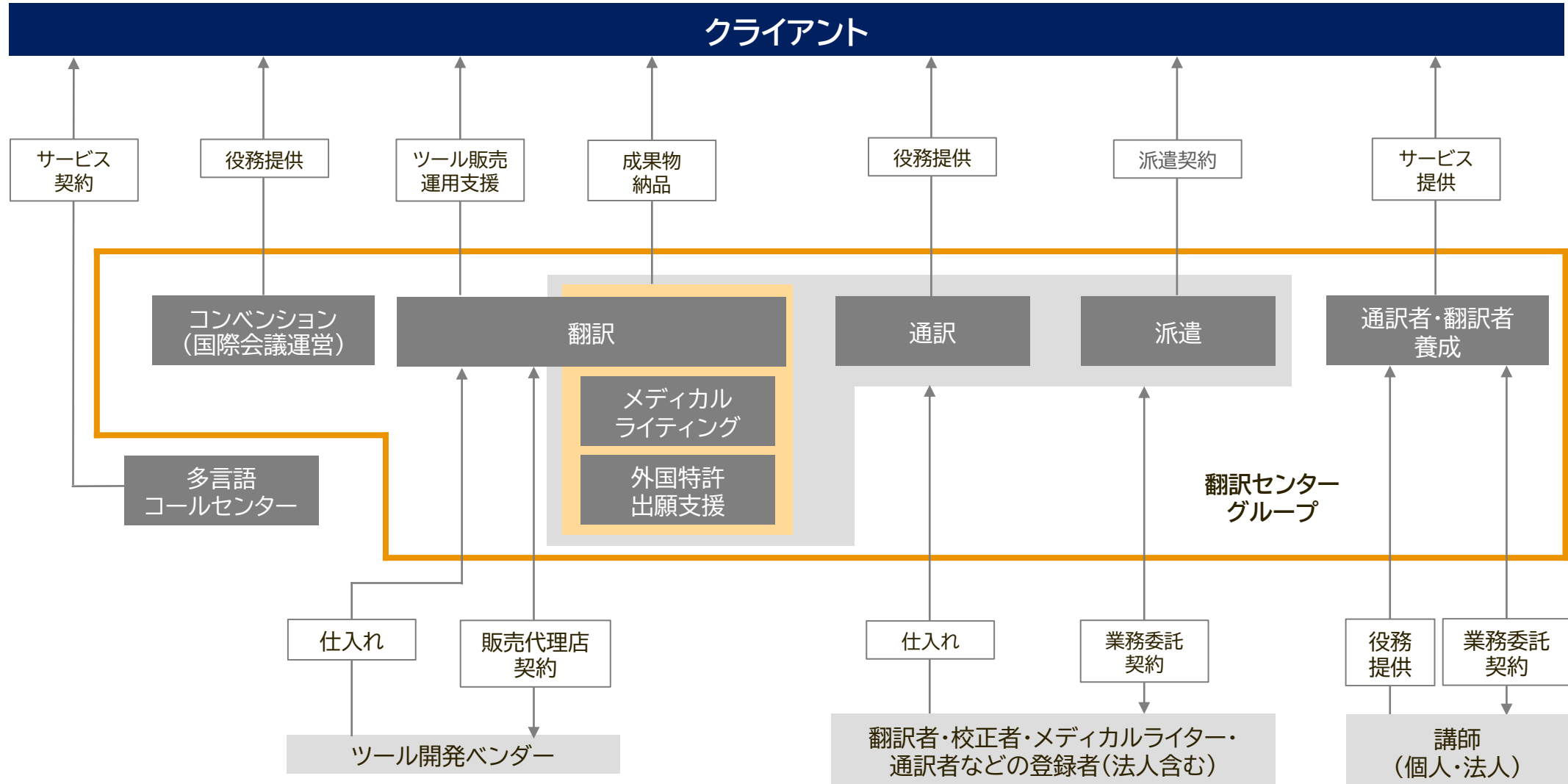
*「中期経営計画における連結業績目標の修正に関するお知らせ」(2026年5月12日発表)の数値を反映

Section 5

- 2026年3月期 業績
- 2027年3月期 業績予想
- 中期経営計画
- 株主還元および成長イメージ
- Appendix



事業系統図



企業理念

産業技術翻訳を通して、国内・外資企業の国際活動をサポートし、国際的な経済・文化交流に貢献する企業を目指す

経営ビジョン

すべての企業を世界につなぐ 言葉のコンシェルジュ

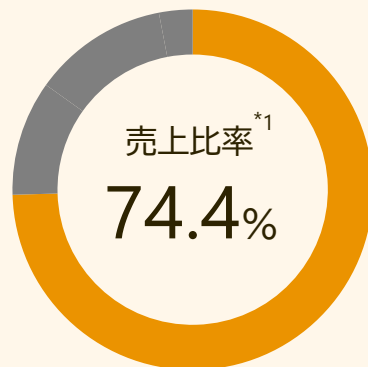
人と人とのコミュニケーションになくてはならないのが「言葉」です。国や言語が違って「言葉」は世界の人々が理解し合うための重要なツールです。翻訳センターは、「言葉」でお客様を世界につなぎます。

会社名 株式会社 翻訳センター
本社所在地 大阪本社:大阪府大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号
東京本社:東京都港区赤坂1丁目12番地32号
代表者 二宮 俊一郎
設立 1986年4月
資本金 5億8,844万円(2026年3月末現在)
従業員数 540人(2026年3月末現在) *連結
事業所 大阪、東京、名古屋

関係会社 株式会社アイ・エス・エス
株式会社メディア総合研究所
株式会社パナシア
株式会社福山産業翻訳センター
シトラスジャパン株式会社
ランゲージワン株式会社(持分法適用会社)
事業内容 翻訳事業、通訳事業、派遣事業、
コンベンション事業、通訳者・翻訳者養成、
外国特許出願支援、メディカルライティング、
多言語ウェブ制作、多言語コールセンター

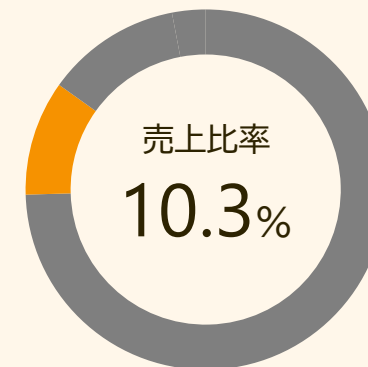
翻訳事業

専門分野に特化した
技術・ビジネス文書の翻訳
メディカルライティング



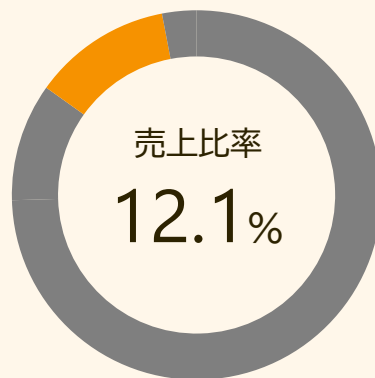
派遣事業

顧客企業への通訳者・翻訳者の
派遣



通訳事業

会議、商談、視察・査察等の
ビジネス通訳



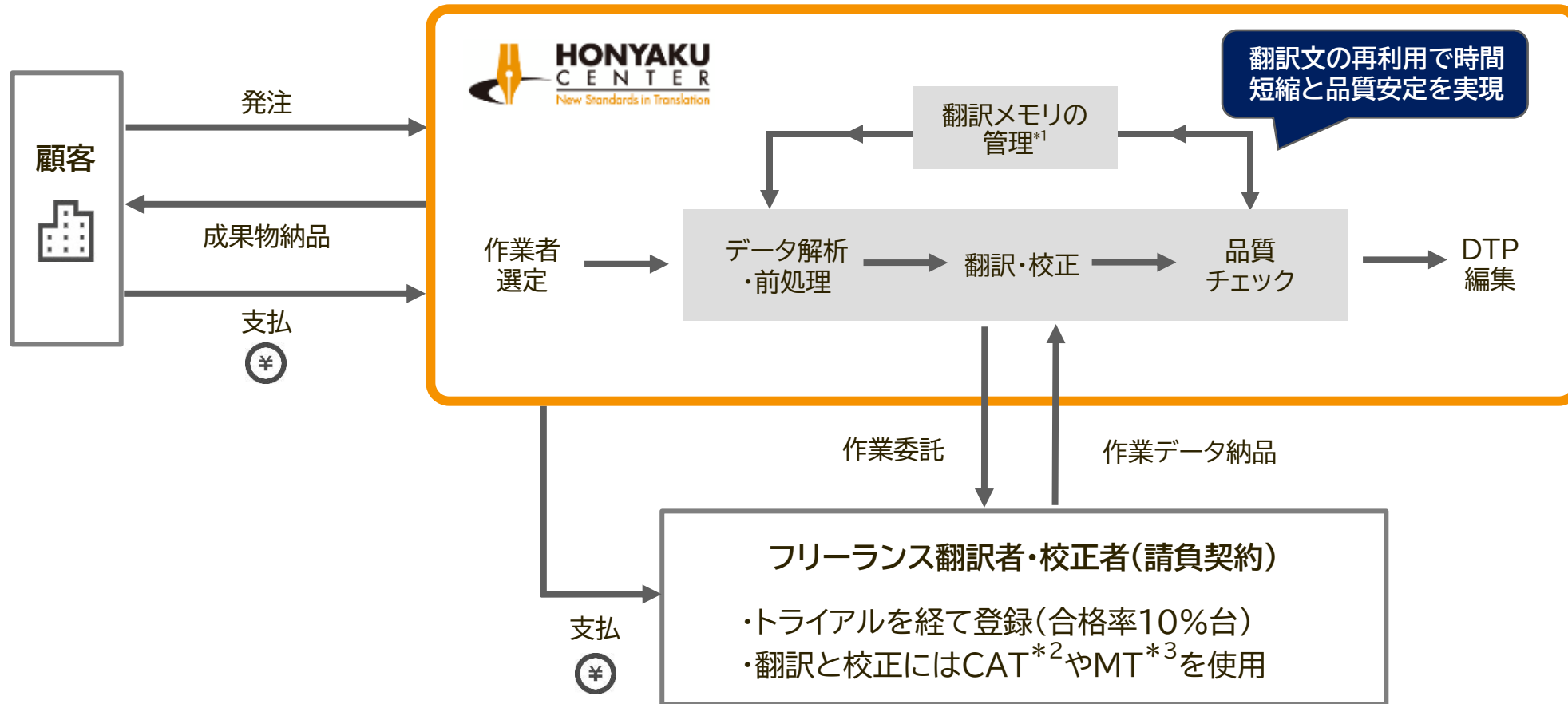
その他

通訳者・翻訳者の養成
外国への特許出願支援
多言語ウェブ制作



*1 2026年3月期実績

ビジネスモデル



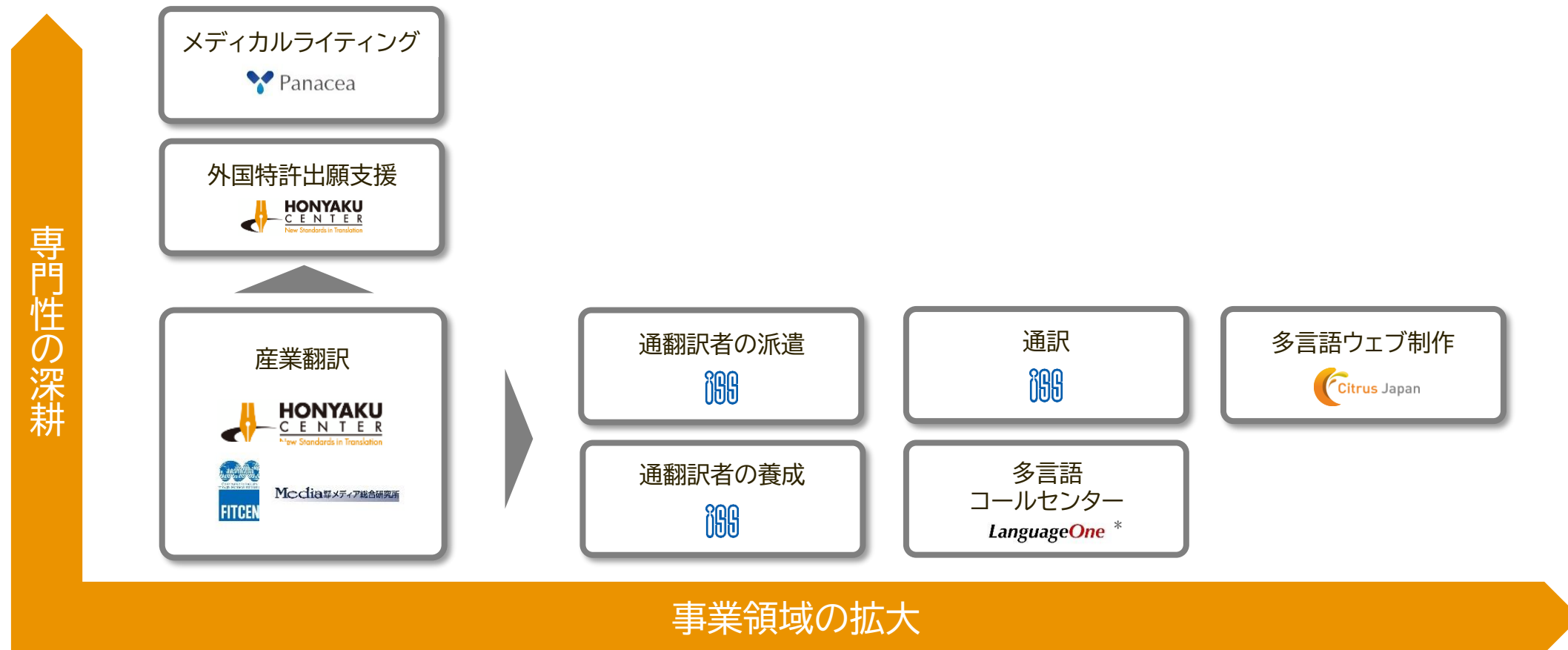
*1 翻訳メモリ: (Translation Memory)とは過去に翻訳した文章を原文と訳文のペアでデータベース化したものであり、略して「TM」とも言う。

*2 CAT: 翻訳支援ツール (Computer-Assisted Translation | 翻訳者や校正者の作業を支援し、作業効率向上に導くソフトウェア)の略語

*3 MT: 機械翻訳 (Machine Translation | 人を介さず機械が行なう翻訳)の略語

外国語サービスの総合サプライヤー

産業翻訳を軸に成長しながら、通訳・派遣やメディカルライティング、出願支援等の周辺事業にも進出。外国語サービスの総合サプライヤーとして企業の国際活動を幅広く支援



* 持分法適用会社



顧客ポートフォリオ



テクノロジーの活用

顧客数 *1 3,300 社

年間受注件数 *1 49,200 件

医薬品・医療



- ・医薬品
- ・CRO
- ・医療機器
- ・大学、病院

[取引実績] *2
世界売上高
100億ドル超
25社の96%

特許



- ・特許事務所
- ・企業知財部
- ・特許調査会社

[取引実績] *3
出願件数上位
100事務所の
約70%

製造業



- ・自動車
- ・機械
- ・電機、電子
- ・エネルギー

非製造業



- ・情報、通信
- ・サービス
- ・インフラ

金融・保険・法律



- ・証券、銀行
- ・損保、生保
- ・法律事務所

官公庁・公社



- ・官公庁
- ・独立行政法人
- ・公益法人

*1 2025年3月31日時点

*2 2024年12月期(一部の日本企業は2025年3月期、豪CSLは2024年6月期)の世界売上高が100億ドルを超える企業25社をランキングして算出

*3 知財ラボ「2023年特許事務所ランキング(<https://jp-ip.com/ranking-list/index/2/1>)」をもとに算出



翻訳支援ツール [CAT]

翻訳メモリの生成

用語管理

人的ミスの検出



機械翻訳 [MT]

下訳の自動生成

※MTはCATに連携させて使用

テクノロジーの積極活用

黄色:用語集(TB)に訳語があることを指す

緑色・ベージュ色:翻訳メモリ(TM)、数字は一致率。100%重複の場合はそのまま再利用できる

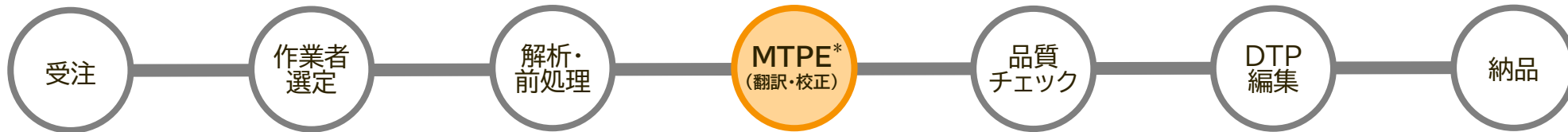
CAT

1	Honyaku Center Inc. is listed on the TSE Standard Market Index at Tokyo Stock Exchange.	99	株式会社翻訳センターは、東京証券取引所スタンダード市場に株式を上場しております。
2	Honyaku Center	TB	HG
3	Honyaku Center Inc. is listed on the TSE Standard Market Index at Tokyo Stock Exchange.	MT	翻訳センター株式会社は、東京証券取引所における東証株価指数に上場しています。

Source	Target	Score	Category
1 About Honayaku Center	翻訳センターについて	100	TM
2 Honayaku Center Inc. is a translation company offering specialized fields such as medical and pharmaceutical translations, patent translations, industrial translations, and financial and legal translations.	株式会社翻訳センターは、医薬翻訳、特許翻訳、工業翻訳、金融・法務翻訳など専門分野の翻訳会社です。	100	TM
3 We provide high-quality, highly specialized translations in English, Chinese and other languages through partnerships with overseas translation companies.	英語翻訳をはじめ、中国語や多言語翻訳も、海外の翻訳会社との提携により高度で専門性の高い翻訳を提供しています。	91	TM
4 We also offer a medical writing service, on-site translation and interpretation, game translation, and comic translation.	メディカルライティング業務、翻訳者派遣、通訳者派遣、ゲーム翻訳・マンガ翻訳も承っております。	100	TM
5 1 Honayaku Center Inc. 1 is listed on the TSE Standard Market Index at Tokyo Stock Exchange.	株式会社翻訳センターは、東京証券取引所スタンダード市場に株式を上場しております。	99	TM
6 https://www.honyakuctren.com/		-	
7 (Securities code 2483)	(決定した訳文が入る)	-	
8 About Honayaku Center 1		-	

赤色:禁止用語。今回の翻訳で使用してはいけない用語を指す(誤訳の防止)

**水色:機械翻訳(MT)による訳文
重複率が低い文章はMTが新たに翻訳。翻訳者が訳出結果から最終的な訳文を決定する**

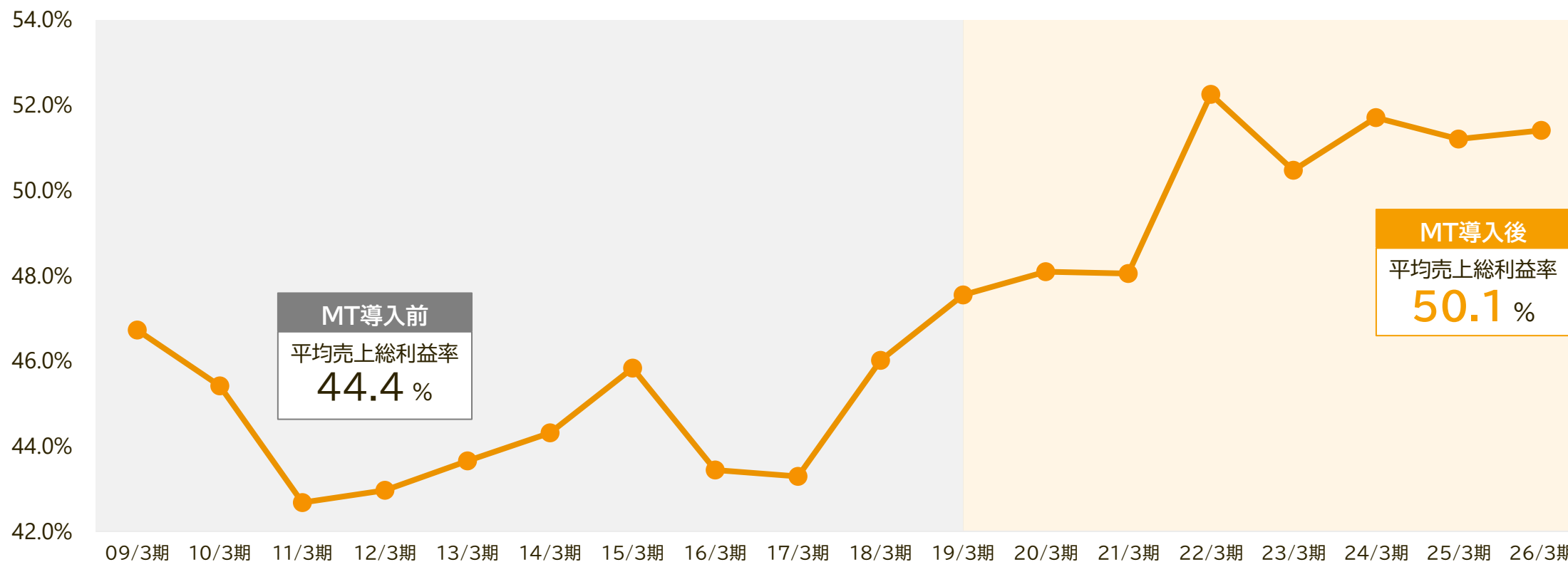


テクノロジーの積極活用により、作業時間を大幅に短縮

* 機械翻訳(MT)で生成された訳文を、プロの翻訳者が修正・編集(Post-Editing)して品質を高める翻訳手法

機械翻訳(MT)を下訳として活用することで、翻訳センター(単体)の売上総利益率が向上

翻訳センター(単体)の売上総利益率



国内の翻訳・通訳市場
(2024年度) *1

2,905 億

当社の
市場シェア *2

3.7 %

*1 「語学ビジネス市場の実態と展望」(矢野経済研究所)

*2 当社2026年3月期連結売上高(108億7,145万)を2024年度の翻訳・通訳市場規模(2,905億)で除して算出

■ 基本方針

New Standards in Translation

翻訳センターグループは、専門分野に精通した翻訳者・通訳者と日々蓄積される豊富な言語資産の活用を通じて、デジタル時代に対応した言語サービスを提供することで、顧客から最も信頼される言語サービスのパートナーになることを目指します。

■ 重点施策

- AI・データの活用による事業競争力の強化
- 業務効率化の推進
- 安定した収益基盤の確立

■ 連結業績目標(2028年3月期計画) *

売上高

117 億円

営業利益

9 億円

当期純利益

6 億円

ROE

8 %以上

MT・LLMの活用による QCDの改善

当社の翻訳サービスの強み



翻訳者との信頼関係



自社専用エンジンを保有



専門文書への対応力

最新テクノロジーのフル活用

データドリブンによる 営業・マーケティングの強化



データを活用し、営業プロセスや
ターゲティングを最適化



サービス提供



顧客の状態に
沿ったアプローチ
やサービス提案

専門文書における競争優位性を確立

社内プロジェクト管理業務の効率化を推し進め、利益率の維持・向上を図る

これまでの取り組み

機械翻訳の活用で
登録翻訳者の
作業効率を向上

機械翻訳の活用効果

- 作業時間の短縮
- 翻訳品質の安定
- 翻訳単価の低減



新たな取り組み

社内プロジェクト管理業務の効率化
(BPRプロジェクトの推進)

期待される効果

- 工程管理の精度向上による品質の安定
- プロジェクトマネージャの生産性の向上

資本効率を重視したグループ事業ポートフォリオの最適化

競争力の高い事業への
選択と集中

利益管理手法の
改善・強化



資本効率の向上と
成長期待の醸成

成長領域に対する投資

翻訳事業のシェア拡大

新しい成長事業の獲得



将来の収益源の育成

各種指標推移

(百万円)

	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期
売上高	9,910	10,337	10,947	11,303	11,210	10,871
営業利益	418	811	928	902	890	705
親会社株主に帰属する当期純利益	117	573	686	711	723	462
資本金	588	588	588	588	588	588
発行済株式総数(株)	3,369,000	3,369,000	3,369,000	3,369,000	3,369,000	3,369,000
純資産額	4,524	5,090	5,672	6,250	6,760	7,023
総資産額	6,295	7,172	7,486	8,326	8,836	8,874
自己資本比率(%)	71.8	70.9	75.7	75.0	76.5	80.0
売上高営業利益率(%)	4.2	7.8	8.4	7.9	7.9	6.4
連結従業員数(人)	509	520	521	562	545	540
登録者数(人)*	3,249	2,681	2,815	2,866	2,911	2,945

* 翻訳センター単体

連結財務諸表 推移

(百万円)

	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期
売上高	9,910	10,337	10,947	11,303	11,210	10,871
翻訳事業	7,520	7,828	8,457	8,458	8,507	8,096
特許分野	2,100	2,316	2,708	2,902	2,911	2,945
医薬分野	2,875	2,904	2,796	2,605	2,694	2,677
工業・ローカライゼーション分野	2,038	2,028	2,376	2,368	2,280	1,930
金融・法務分野	505	580	575	582	619	543
派遣事業	1,228	1,212	1,119	1,174	1,175	1,123
通訳事業	477	655	854	1,095	1,187	1,323
その他	385	420	365	342	340	328
コンベンション事業	298	220	152	233		
売上原価	5,536	5,429	5,860	5,990	5,895	5,718
売上総利益	4,373	4,907	5,087	5,313	5,314	5,153
売上総利益率	44.1%	47.4%	46.4%	47.0%	47.4%	47.4%
販売管理費	3,955	4,096	4,159	4,410	4,424	4,447
営業利益	418	811	928	902	890	705
経常利益	465	841	960	938	905	748
親会社株主に帰属する当期純利益	117	573	686	711	723	462

連結貸借対照表 推移

(百万円)

	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期
資産の部						
流動資産	5,515	6,311	6,611	7,289	7,667	7,275
固定資産	780	861	875	1,036	1,169	1,498
資産合計	6,295	7,172	7,486	8,326	8,836	8,774
負債の部						
流動負債	1,595	1,891	1,618	1,853	1,848	1,505
固定負債	175	190	195	221	227	244
負債合計	1,770	2,081	1,813	2,075	2,075	1,750
純資産の部						
株主資本	4,514	5,068	5,630	6,203	6,724	6,947
その他の包括利益累計額	10	22	42	47	36	76
純資産合計	4,524	5,090	5,672	6,250	6,760	7,023
負債純資産合計	6,295	7,172	7,486	8,326	8,836	8,774

本資料には、当社に関する業績や見通し、将来に関する計画、経営目標などに関する情報が含まれています。
これらは資料作成時点での想定に基づくものであり、これら情報が正確である保証はありません。
また開示規則により求められる場合を除き、本資料に記載の情報は予告なしに変更されることがあります。

お問い合わせ先

株式会社翻訳センター 経営企画室

E-mail

ir@honyakuctr.co.jp

IRサイト

<https://www.honyakuctr.com/ir/>